

# とよた

## 市議会だより

TOYOTA CITY COUNCIL No.171



### 表紙の写真と関係議案 (議案第141号関係)

矢作川鵜の首地区水位低下対策事業の実施に伴い、都市公園(秋葉緑地)の区域面積が変更することとなります。この事業では、川幅の狭い鵜の首狭窄部が開削され、頻発化・激甚化する水害への対策へとつながります。

## 12月市議会 定例会号

令和5年2月1日

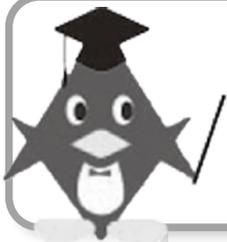
### 目次

■ トップインフォメーション	議会だより創刊30周年記念	2
■ 議案審議結果	条例の一部改正など	4
■ 議案説明・討論		5
■ 常任委員会	付託案件を審査	6
■ 一般質問	市政を問う! 20人の議員が質問	8
■ トピックス	豊田南高校の生徒が議会を傍聴 市議会報告会兼意見交換会を開催しました	12

# 議会だより創刊30周年記念

～豊田市議会の歴史と議会だよりの変遷～

昭和34年に豊田市制が開始されて以来、豊田市議会は市民に開かれた議会として、議会改革を進めてきました。その中で、平成4年に議会と市民をつなぐツールとして創刊した議会だよりは今年で30周年を迎えました。今回は、記念となるこの年にこれまでの市議会の活動を振り返るとともに、議会だよりの変遷についても触れていきます。



豊田市議会の歴史と  
議会だよりの歴史の変遷が  
見えてきます!!



議会だより  
創刊です!



議場コンサートの様子

昭和34年

豊田市から豊田市に市名変更  
豊田市議会として始動

平成元年

中学生模擬市議会を開催

平成4年

とよた市議会だより創刊

平成6年

議会中継開始  
(ひまわりネットワーク)による

ケーブルテレビ

平成10年

県内初の中核市へ移行

平成11年

新設の議場(現在の市役所南  
庁舎7階)において議会を開催

平成12年

市議会だよりのデザインを変更

平成13年

FMラジオ(FMとよた)  
による議会中継開始

平成14年

議会ホームページを開設



# 議会だより編集委員会

議会だより編集委員会は議会運営委員会から選出された4~5名の議員から構成されています。議会だよりは定例会ごとに発行し、議会で審議された予算や条例等の内容、市政に対する一般質問のほか、議会活動について掲載しています。委員会では、編集方針や記事の内容について話し合うことで、市民にわかりやすい議会広報誌となるよう努めています。



今年度の議会だより編集委員会メンバー  
榎屋小百合委員・北川敏崇委員  
中村孝浩副委員長・木本文也委員長



議会だよりの内容について協議する編集委員会の様子



7市町村の議長が一つに



第一回市民シンポジウム



タブレットの導入

平成17年

7市町村の大合併  
議場コンサートを初めて開催  
(英国ダービーシャー青少年  
ジャズオーケストラが演奏)

市議会だよりのデザインを変更

平成23年

地域市議会報告会、  
市民シンポジウムを初開催

平成27年

市議会だよりの表紙カラー化

平成28年

市議会だよりのデザインを変更

令和元年

タブレット端末の導入により  
会議資料等のペーパーレス化推進

令和3年

オンライン会議開催を  
可能とする委員会条例の改正

令和4年

市議会だよりの  
一般質問コーナーに  
動画のQRコードを追加

市議会だよりのデザインを変更

**とよた市議会だより**  
市民の代表45人が決定  
14人の新議員が誕生(平均年齢56.5歳)

TOYOTA CITY COUNCIL  
127号

**とよた市議会だより**

TOYOTA CITY COUNCIL  
132号

**とよた市議会だより**

TOYOTA CITY COUNCIL  
169号

※議案名など一部省略して記載しています

12月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名										
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対									
<b>◆議案</b>																			
第114号	個人情報保護法施行条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	2	1									
115	山村地域活性化住宅条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
116	事務分掌条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
117	附属機関条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
118	情報公開条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	0	3									
119	情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
120	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
121	職員給与条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特則に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
122	議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	0	3									
123	特別職職員の給与を定める条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	0	3									
124	手数料条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
125	市立保育所条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
126	市営住宅条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
127	水道事業給水条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	1	2									
128	水道工事分担金条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
129	令和4年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
130	// 国民健康保険特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
131	// 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
132	// 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
133	// 卸売市場特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
134	// 介護保険事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
135	// 後期高齢者医療特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
136	// 水道事業会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
137	工事請負契約の締結(豊田スタジアム長寿命化改修工事(その4))	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
138	指定管理者の指定(市立南部休日救急内科診療所)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
139	// (西町活性化施設)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
140	// (山村地域活性化住宅乳母ケ入住宅ほか14施設)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
141	都市公園予定区域の変更(秋葉緑地)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
142	令和4年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
<b>◆同意</b>																			
第6号	人権擁護委員の推薦(再任:青木康次氏)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0									
<b>◆報告</b>																			
第9号	専決処分の報告(損害賠償額の決定6件、訴えの提起2件、補正予算2件)																		
<b>◆請願</b>																			
第1号	[選択的夫婦別姓制度の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書]を採択することを求める請願	不採択	0	27	0	10	0	4	3	0									
2	水道料金の値上げをしないで据え置くことを求める請願	//	0	27	0	10	0	4	1	2									
<b>◆陳情</b>																			
第16号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書																		
17	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情																		
<b>◆議員提出議案</b>																			
第4号	議会個人情報保護条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0									
5	議会基本条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									

## 条例の制定、補正予算など31議案を議決。

子育て世代を中心に山村地域への移住・定住の足掛かりとなる賃貸住宅を提供します。

### 【議案第115号】 山村地域活性化住宅条例

この条例により、山村地域への定住のきっかけを創出し、結婚、子育て等により家族を形成する時期にある世代を中心とした人達の移住により山村地域の活性化及びコミュニティの維持を図ります。希望する人は、安価な使用料で一時的に居住、生活を行いながら地域を知ることができます。

伴走型支援充実に向け、出産・子育て応援事業を実施します。

### 【議案第142号】 令和4年度一般会計補正予算

この補正において、支援が手薄な0歳から2歳までの低年齢期に焦点を当て、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図ります。全ての妊婦や産婦に対し面談等を実施することで、各種支援サービスの紹介や相談支援を行うとともに、妊娠期・出産後にそれぞれ5万円の給付を行います。



12月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等の議員が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。\*発言順に記載

根本美春 諸派

**豊田市水道事業給水条例の一部改正は市民の負担になることから、反対**

議案第127号：反対。水道料金の値上げによる市民への影響を考慮した、市民説明会開催による意見聴取や、他市ではすでに実施している減免等の負担軽減策についての考えが本市にはない。これ以上の負担は、市民の生活苦にさらに追い打ちをかけるものとなり、断じて許容できないことから、反対。

杉本寛文 自民クラブ

**水道料金の改定時期や改定後も一般家庭への負担が考慮されている点を評価して、賛成**

議案第127号：賛成。人口減少等により水道の料金収入が減少傾向の中、既存施設の更新や耐震対策等の基盤強化が必要であり、財源確保のために料金改定が必要である。また、諸物価等が上昇している現在の社会情勢を踏まえ、自民クラブ議員団から改定時期の延期要望をし、一年間の先送り（令和6年4月施行）となった。改定後も一般家庭への負担抑制が維持されている点を評価して、賛成。

岡田耕一 諸派

**山村地域活性化住宅は移住・定住のきっかけとなることを期待して、賛成**

議案第115号：賛成。既存入居者には不利益なく、入居を継続でき、家族形成期世帯に対しては8年という期間を定めて優遇し、地域の活性化とコミュニティ維持を図る山村地域活性化住宅の設置を評価する。ファミリーシップ宣言を行った同性カップル等も入居可能である点や自治区加入は義務とせず、地域活動への参加と自治区加入について入居説明時に理解を求めることとした点は評価でき、賛成。

鈴木孝英 市民フォーラム

**開示請求に係る手数料の設定は十分な調査と請求者への配慮がされており、賛成**

議案第118号：賛成。市が実施した行政コストの調査では少数の請求者に対し多くの行政コストを負担している実態が明らかとなり、受益と負担の公平性を確保する上で条例改正は必要だと考える。また、資力に応じた手数料の減免制度の整備のほか、条例の施行から3年経過後は、施行状況や社会情勢を勘案し、必要に応じて所要を見直すこととしている。市の審査会からも、適当である旨の答申を得ているなど、知る権利の保障や行政の透明性は確保されることから、賛成。

中島竜二 諸派

**豊田市情報公開条例の一部改正は市民の知る権利及び市政の透明性を後退させる危惧から、反対**

議案第118号：反対。開示請求に係るコストは民主主義を維持するために必要なコストであり、請求手数料の導入や従前から徴収している写しの交付に要する費用に加えて開示手数料を徴収することは、市民の知る権利及び市政の透明性を後退させる危惧がある。知る権利の行使は請求者個人の受益だけではなく、市民全体の受益にもつながることから、反対。

榎屋小百合 公明党

**一般会計補正予算は全ての妊婦を対象に実効性のある支援が届けられることを期待し、賛成**

議案第142号：賛成。物価高騰の影響が続くなか、国の出産・子育て応援給付金の創設をうけ、追加補正として予算を確保し、対象者に個別通知することで、確実かつ速やかに支援が届けられることを評価する。コロナ禍や核家族化により、孤立を深める家庭が増えている中、伴走型相談支援を経済的支援と一体で行うことで、全ての妊婦に、妊娠期から出産・産後、育児期まで一貫した支援が行われることを期待し、賛成。

# 常任委員会

**常任委員会とは** 地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会です。本市では、次の6委員会が常任委員会となります。

## 産業建設 委員会

12月12日、付託された5議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第115号】山村地域活性化住宅条例

**質問** この条例は、山村地域の活性化及びコミュニティ維持を図ることを目的としているが、入居者と地域との関わりについての考え方は、どのようなか。

**答弁** 条例の目的である山村地域の活性化及びコミュニティの維持を図るためにも、入居者には、地域活動への参加と自治区の加入に理解をしてもらえるように入居説明時に案内をしていく。また、支所と連携をして、自治区の役員等を紹介する仕組みを整え、入居者がスムーズに自治区活動等に参加できるよう努めていく。



山村地域の様子

【第137号】工事請負契約の締結（豊田スタジアム長寿命化改修工事(その4)）

**質問** 維持管理付工事発注方式を試行実施すると聞いているが、そのねらいと期待される効果はどのようなか。

**答弁** 維持管理付工事発注方式を試行実施するねらいは、品質を確保しつつ、公共建築物の維持管理コスト縮減を推進することである。期待される効果としては、これまで工事竣工後に、競争入札が困難であった維持管理費についても、競争性が確保され、品質加工とコスト縮減の両面から、適切な設備等の更新が図られると考えている。

## 環境福祉 委員会

12月13日、付託された1議案を審査し、全会一致にて承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第138号】指定管理者の指定（豊田市立南部休日救急内科診療所）

**質問** これまでの運営状況はどのようなか。また、今後の運営に当たり、改善点等はあるか。

**答弁** 運営状況について、1日当たりの平均患者数は、診療所開設の令和2年度は約9人、令和3年度は約10人、令和4年度は11月末までの実績で約16人である。受診者が少ない要因としては、コロナ禍において受診控えがあったためと分析しているが、現在は、徐々に患者数が増加してきている。

また、今後強化する点として、救命救急センターである第三次救急医療機関からは、受診者、分散化の役割を引き続き期待されているため、休日の一次救急医療機関として、市民に認知され、受診者の増加につながるよう、今後さらなる周知に努めていきたい。



南部休日救急内科診療所

## 教育社会 委員会

12月14日、付託された1議案を審査し、全会一致にて承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第125号】保育所条例の一部改正条例

**質問** 北栄こども園の廃止にあたり、地元住民への説明はどのように行ったか、またその結果はどのようなか。

**答弁** 令和4年8月から9月までにかけて、地区区長会、地域会議、民生委員及び児童委員に対し、それぞれの会議の場で、北栄こども園の廃止について説明を行った。説明の結果、反対意見はなく、廃止について理解をいただいた。また、会議においては、施設はどうなるのか、地元で活用を考えてよいのか等、今後の跡地利用に関する質問や意見を多くいただいた。



北栄こども園

## 地域生活 委員会

12月15日、付託された3議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。請願1件は不採択としました。他に陳情1件を報告しました。

【第127号】水道事業給水条例の一部改正条例

**質問** 今回の料金改定で確保される財源を活用し、どのように基盤強化を図っていくのか。

**答弁** 将来にわたって市民に安全安心な水道水を届けられるよう、今回の料金改定により、確保した財源のほか補助金、企業債などを活用し、水道ストックマネジメント計画に基づく老朽化対策や、新・水道耐震化プランに基づく耐震対策などを着実に推進し、さらなる水道の基盤強化につなげていく。



豊田市水道キャラクター「ぴっちゃん」

**【第128号】水道工事分担金条例の一部改正条例**

**質問** 条例改正に至った経緯と期待する効果はどのようか。

**答弁** 水道工事分担金条例は、昭和46年の水道拡張期に制定されたものであるが、現在では配水管の整備も進み、水道普及率も概ね100パーセントである。現在、申請に基づき新たに布設する配水管は、共有管としての利用よりも、個人専用利用の傾向が強くなっているにもかかわらず、100メートルまでは申請者の費用負担はなく、水道利用者の利用料金で全て賄っている。この状況は、公平な費用負担とは言えないため、今回、分担金条例の改正を行うものである。

期待する効果としては、受益者である申請者に応分の費用負担をしていただくことで受益と負担の公平の確保が図られることである。

**企画総務**

委員会

12月16日、付託された10議案を審査し、議案の全てを承認しました。請願1件は不採択としました。他に陳情2件

を報告しました。

**【第118号】情報公開条例の一部改正条例**

**質問** 開示請求権の行使のためらいが懸念されるが、知る権利への配慮はどのようか。

**答弁** 知る権利の保障は、行政の透明性の確保と、市民の政治参画を実現する上で、ひいては民主主義の実現のために極めて重要であると認識している。手数料の設定に当たっては、これに最大限配慮し、金額自体を請求手数料については1件当たり200円、開示手数料については1枚当たり10円とし、低廉なものとしている。

また、請求手数料について、1件当たりの定義を文書1件ではなく、請求書1枚当たりとし、所管課をまたがない限り、複数の文書を1件として請求することを可能にしている。さらに、開示手数料については100枚まで無料としている。加えて、無資力であることが、請求権の行使を妨げないよう、減免規定を設けている。また、将来において、開示請求の傾向や、かかる行政コストの状況の変化もありうることから、手数料の導入後3年を経過した場合において、再検討する旨の見直し規定を設定している。

**予算決算**

委員会

12月9日から12月20日まで、付託された補正予算の議案9件を審査し、全ての案件を承認しました。

**【第129号】令和4年度一般会計補正予算**

◀歳入19款1項1目 一般寄附金、歳出2款1項13目 ふるさと寄附金推進費▶

**質問** 本年のふるさと寄附金の状況を受けた今後のふ

るさと寄附金を活用した歳入確保への方針はどのようか。

**答弁** 個人版ふるさと寄附金では、本市の魅力発信につながる返礼品の登録拡充に向けて、引き続き市内事業者への制度説明及び交渉を実施するとともに、さらなるサイト拡充に向けた検討を進めていく。

企業版ふるさと寄附金については、県外、市外の企業に対して、本市の特色ある事業や企業の共感を得やすい事業を中心に掲載したカタログ等を用いて、寄附募集を行いながら、新たに委託による企業への交渉を始めるなど、さらなる歳入確保に努めている。

今後は、クラウドファンディングの活用なども含め、ふるさと寄附金制度を積極的に活用して、本市の魅力発信するとともに、公民連携による新たなまちづくりにチャレンジしていきたいと考えている。



WE LOVE とよたマーク

◀歳出3款2項1目 障がい福祉事業所等災害・感染症対策費及び3款3項1目 介護事業所等災害・感染症対策費▶

**質問** スクリーニング検査の対象事業所を拡大した理由及び効果はどのようか。

**答弁** 理由としては、外部との接触機会の多い訪問系事業所まで対象を拡大することで、重症化リスクの高い高齢者等への感染拡大防止をさらに進めるためである。効果については、スクリーニング検査により、無症状の陽性者を発見することで、重症化しやすい高齢者等と接する機会の抑制につながることを期待している。

## 市政を問う!

12月5日から7日にかけて、20人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

**窪谷文克**

自民クラブ



- 学校が抱える諸課題
- 令和5年度当初予算
- 人口減少の影響

**質問** 人口減少が及ぼす各種の影響

人口フレームは本市の次期総合計画の策定時に重要な要素と考えるが、人口減少の影響について問う。

**答弁** 市長

国内の人口減少が進む中、自治体間で人口を奪い合うような取組は、国力を疲弊させるものと考えているが、一方で本市への移住・定住ニーズへの対応を進めていく。

次期総合計画では、人口減少社会を見据え、未来を先取る取組に挑戦しながら、豊かさを実感できるまちづくりを進めていく。本市の魅力を最大限生かし、中長期を見据えたまちづくりを進めることで、持続可能な都市としての人口規模と、中核都市として役割を發揮できる都市の拠点性確保につながると考える。

**根本美春**

諸派



- 市駅東口バスターミナル廃止計画の見直し
- 18歳までの医療費無料化
- すべての子どもに教育機会の確保を

**質問** 18歳までの医療費無料化の考え

子どもの医療費助成は、必要な医療を安心して子どもが受けられ、子育て世代の経済的負担の軽減や疾病の早期発見・治療の促進等、子どもの健全な育成につながる効果があることを考えると、18歳まで通院も含めた医療費無料化は必要と考えるが、市の考えを問う。

**答弁** 福祉部

本市の制度は、県内市町村の中で

は標準的な水準以上であり、全国の中核市と比較しても充実した内容であるため、現時点では今以上の対象拡大の予定はないが、引き続き、対象世代の医療費負担の推移や、県、近隣市町村、全国中核市等の動向を注視していく。

**古木吉昭**

市民フォーラム



●公園の魅力向上に向けて

**質問** 他の公園における民間活力導入に向けた取組

都市公園における更なる民間活力導入への取組について、市の考えを問う。

**答弁** 都市整備部

都市公園における更なる民間活力導入への取組としては、ラリー等の大規模イベントを始め、様々な事業との連携や、利用を希望する事業者同士をつなげることが有効と考えており、これらの取組によりにぎわいづくりの相乗効果を図っていきたい。また、都市公園の立地環境や規模を踏まえ、それぞれの公園が持つ特色を活かし、公園の活用や更なる魅力向上に向けて、民間活力の積極的な導入に取り組んでいきたい。



鞍ヶ池公園

**日當浩介**

市民フォーラム



●社会に順応していく都市内分権の取組

**質問** 都市内分権が目指すこれからの姿

ミライのフツーを実現するために

都市内分権が果たす役割について、市長の想いを問う。

**答弁** 市長

都市内分権が目指すミライのフツーは住民自治の実現である。本市ではすでに自治区が自立した住民自治の機能を果たしており、加えて都市内分権が定着することで、住民自治はより強固なものとなると考えている。また、今回の地域自治システムの拡充の肝は、これまで以上に地域に財源を移譲することである。自分たちのまちや暮らし、地域の特長を自ら考え、自らが納めた税金の一部を自らが使うことでさらにまちが良くなっていく。そうした本市のミライに期待している。

**大石智里**

公明党



- 女性支援の充実
- ずっと元気!プロジェクト

**質問** 女性が抱える困難の解消

一時保育の拡充に向け、受入年齢の拡大や、私的理由による利用日数の拡大が必要と考えられるが、市の見解を問う。

**答弁** 子ども部

対象年齢の拡大について、0歳児の受入に当たっては、1歳、2歳児に比べて手厚い保育が必要となり、保育士の配置を増やすなど、人材確保を含めた受け入れ体制を整える必要があることから慎重に判断していきたい。私的理由による利用日数の拡大については、現状、一時保育を利用する保護者の約9割が、育児疲れやリフレッシュなどの私的な理由で利用しているため、現在拡大に向けて検討しているところである。

※質問順に掲載しています。 ※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

**吉野 英国**

市民フォーラム



●郷土愛向上に向けた博物館の取組

**質問** 連携によるつくりつづける博物館への取組

新博物館が起点となり、市内地域で残したい文化を各支所・交流館等で展示するなど、地域との連携について市の考えを問う。

**答 弁** 生涯活躍部

新博物館では、館内で実施する事業のほかに、必要に応じて出前博物館や出前講座を実施し、各地域の歴史継承にも取り組んでいく。また、各交流館には歴史や自然を愛好するグループが活発に活動しているため、新博物館から地域へ出向く取組だけではなく、地域の取組を新博物館で紹介することも重要と考えている。



新博物館イメージ図

**中尾 俊和**

市民フォーラム



●災害時の避難における環境整備

**質問** 避難所の環境整備

災害時における避難所の通信環境向上に向け、Wi-Fi環境の整備を提言するが、本市の考えを問う。

**答 弁** 地域振興部

内閣府が令和4年4月に改定した避難所運営ガイドラインでは、新たに避難所での情報入手手段であるWi-Fi環境の確保についての項目が加えられた。それを受け、本市デジタル化推進本部会議では、整備済みの

小・中学校のネットワークを活用したWi-Fi環境の整備や、小・中学校以外で開設する避難所へのモバイルルーターの設置について、協議を進めている。今後は、ガイドラインの内容等を踏まえ、避難所のWi-Fi環境の整備を進めていきたい。

**水野 博史**

自民クラブ



- 戦略的な公営住宅セーフティネットの確立
- 障がい者スポーツを通じた共生社会の実現

**質問** 市営住宅ストックの有効活用

国道301号線の4車線化とあわせて市営浜居場住宅の早期建て替えなど、まちづくりと連携した市営住宅施策に対する市の考えを問う。

**答 弁** 都市整備部

市営住宅に係る施策の展開にあたっては、それぞれの住宅の築年数や施設の状況、民間賃貸住宅のストックの状況や市営住宅全体の均衡の見極め、そして周辺道路整備など公共事業をはじめ、当該地区周辺のまちづくりも踏まえることが重要と認識している。これらを踏まえ、特に老朽化が進んでいる市営住宅の建て替えについては、今後できるだけ早く、次期整備内容を判断して進められるよう取り組んでいく。

**奥村 峰生**

自民クラブ



- 民俗文化財の保存と継承
- 将来を見据えた都心整備の推進

**質問** 祭り等の保存・継承に係る取組

民俗文化財の中でも、特に山車関係の部材は国産材の入手が困難な状況となっている。修理時における本市の対応を問う。

**答 弁** 生涯活躍部

現在、国・県・市の指定を受けている民俗文化財は市内に44件あり、様々な修理要望が寄せられている。その中で、修理すべき文化財の毀損の状況、あるいは安全性が確保できないなど、緊急性や必要性に応じた優先順位を付けて修理補助金の交付を行っている。また、修理にあたっては、文化庁の調査官や文化財保護審議会等の専門家から助言をもらえるように支援し、最善の方法で修理を行うことができるように調整している。

**太田 博康**

自民クラブ



- 海外都市との連携事業を生かした本市の国際化
- デジタル強靱化戦略に基づくDXの推進

**質問** 本市の国際化の促進に向けて

今回のフランス出張の感想を含め、本市の国際交流促進に向けた市長の考えを問う。

**答 弁** 市長

本市の脱炭素社会実現に向けた取組をフランスの各自治体に効果的に情報発信ができたほか、グルノーブル・アルプス都市圏とは協定締結により、両市の関係を深めることができた。

本市の国際交流を考える上で必要なのは、日本人と外国人が同じ豊田市民として交流し、相互理解を図ることで地域内の国際交流を促進していくことである。様々な機会を活用し、今後も積極的に国際交流を進める中で、海外都市との関係構築や職員の人材育成も大切にしていこう。

## 市政を問う!

議員氏名  
会派名



QRコードから、各議員の一般質問の動画を見ることができます。

岡田 耕一

諸派



- 本市の動物愛護活動の取組
- 本市の自治区等の活動への関わり
- 今後の豊田市駅周辺整備

### 質問 今後の本市の取組

地域猫活動に対し、支援ではなく、主体的に地域のボランティア団体等との共働で活動を推進する考えがあるか、本市に問う。

答 弁

保 健 部

地域猫活動は、猫に関する問題解決を図るために、地域住民、ボランティア団体、行政がそれぞれの役割を担い、共働で取り組む活動のひとつであると認識している。現在、市は地域猫の避妊去勢手術の実施や活動に関する啓発などを行っている。活動がより推進されるよう、活動者やボランティア団体の意見も踏まえ、捕獲用檻の追加購入やボランティア団体の紹介も含めて、引き続き市の役割を果たしていく。

鈴木 孝英

市民フォーラム



- 障がい福祉の強化・充実

### 質問 福祉サービス等の受入れ体制の整備

三好特別支援学校の過大化解消に向け、南山国際高等学校・中学校跡地における特別支援学校の新設の状況を問う。

答 弁

教 育 部

愛知県には、平成30年12月に南山国際高等学校・中学校の跡地を建設候補地とした要望書を提出している。県議会では当学校跡地を候補地として、本市と十分相談・協議を行うとの知事答弁があったほか、県の計画にも推進方策が明記され、毎年度、

県教育委員会と協議、調整を行っている。現在、県は三好特別支援学校の教室不足の状況を注視しながら、新設校の設置時期を検討しているが、本市の対象児童生徒数は増加傾向にあり、粘り強く要望・調整を行っている。

中島 竜二

諸派



- デジタル社会と情報アクセシビリティ

### 質問 情報アクセシビリティの取組

条例に基づいた本市の情報アクセシビリティの取組について、現在の進捗状況を問う。

答 弁

総 務 部

本市では、相互理解と意思疎通に関する行動計画を策定し、その一つにユニバーサル市役所とよたガイドラインの運用・見直しがある。ガイドラインは市職員を対象に、配慮が必要な方々が自分の意思を伝えられ、誰一人取り残さずに情報を伝えられるよう、要配慮者への配慮の基準を示した。通知文書作成時におけるフォントの工夫や、分かりやすい表現、行事に応じた手話通訳者の設置や、多言語化への対応等、幅広く対応している。

福岡 靖純

自民クラブ



- 安心して暮らすことができる多世代共生のまち

### 質問 民生委員の課題解決と今後の取組

高齢化等の進展により民生委員の支援が必要となる一方、民生委員の担い手不足が懸念され、協力員制度創設に向けた本市の考えを問う。

答 弁

福 祉 部

民生委員協力員制度について、県内で実施している自治体は確認していないが、全国の一部の自治体では取組が行われている。そのうち、千葉県木更津市においては、民生委員の負担軽減に繋がっていると聞いている。今後は、協力員制度の有効性や、新たな通信手段の活用を検討も含め、地域や民生委員児童委員協議会と連携を図り、民生委員業務の負担軽減や担い手不足の解消に取り組んでいく。

岩田 淳

自民クラブ



- 豊田市のプライドと目指すべきプラチナ社会
- 中央公園を活用した魅力あるまちづくり

### 質問 中央公園第二期整備事業の更なる推進

中央公園の先行整備区域の事業効果や展開動向等の検討がどの状態になれば次期整備区域に事業着手するのか、本市の見解を問う。

答 弁

都 市 整 備 部

中央公園の第二期整備事業については、予定通り先行整備区域を進めているところである。

次期整備区域については、先行整備区域で予定しているグラウンド等の整備完了後の利用状況や、都心や豊田スタジアムなどと連携したスポーツツーリズムなどのまちづくりとしての活発な展開動向、そして採算性を含めた相乗効果の確認など、先行整備区域の事業効果を総合的に見極めた上で次期整備区域の事業着手を判断していく。



豊田スタジアム

○一般質問の大きなテーマ(大項目)  
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)  
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局長  
質問に対する市の担当部局の回答

### 神谷 丈一

自民クラブ



- 「豊田市民の日」の制定を目指して
- 御幸地区まちづくりの展望
- 江戸時代から継承される山車文化

質問 市民が愛情と誇りをもつ豊田市

多くの市町村に存在する「市民の日」を本市も制定すべきと考えるが見解を問う。

答弁 市長 公室

郷土愛やシビックプライドを醸成するための自治体の取組は様々だが、本市としては、お互いを尊重し分かち合いながら、WE LOVEとよたの取組が広がっていくことを期待しており、今後もWE LOVEとよたの取組を一層推進したい。そのため、節目の日こそが、郷土愛の醸成に非常に重要な役割を果たすという提案は一つの視点と受け止め、より一層の郷土愛の醸成に向けた今後のあり方について、市民の盛り上がりなどの社会情勢を踏まえながら、見極めていく。

### 杉浦 健史

自民クラブ



- 新博物館における自然教育との関わり
- EBPMに向けた統計データの活用

質問 本市独自の産業連関表の必要性

全庁的に、かつ施策展開のため戦略的に活用することができる本市独自の豊田市版産業連関表の策定を提言するが、本市の考えを問う。

答弁 総務部

産業連関表は、非常に重要な統計表であると認識しているが、現状では、国や県が作成した産業連関表をベースに、各事業の性質や規模等に依りて必要の都度、施策評価に活用

していきたいと考える。提言のあった豊田市独自の産業連関表の全庁的な活用に向けた整備については、活用頻度や費用対効果を見極めた上で判断していく。

### 山田 主成

自民クラブ



- 将来人口を見据えた住宅・宅地供給施策
- WRCラリージャパン2023に向けて

質問 ラリージャパン2023

ラリージャパン2022の実績を踏まえ、ラリージャパン2023をどのような大会にするのか、市長の決意を問う。

答弁 市長

1点目は安全・安心の大会を、2点目はラリーファン、モータースポーツファンの目線を大切に大会を、3点目は環境に配慮し、SDGsの視点を持ちながら未来へつなぐサステナブルな大会を目指していく。特に3点目については、ラリーファンを増やし、ラリーへの理解者を増やすためにも重要な視点と考える。ラリーを日本で定着させるのに相当な覚悟が必要であると感じており、ラリージャパン2023に対しては着実に取組を進めていく。

### 榎屋 小百合

公明党



- 精神障がいに対応した地域包括ケアシステム構築
- 子どもの幸せ最優先のまちづくり

質問 精神障がい者の地域包括ケアシステムの推進

心のサポーターの養成は、地域での普及啓発のほか、精神疾患の早期対応等にもつながるが、サポーター養成への市の考えを問う。

答弁 保健部

心のサポーターに期待される効果には、身近な人の心の不調への気づきや理解を深め、インフォーマルなサポート体制を地域に広めるといった点が挙げられるが、本市では同様の効果を期待する事業として、自殺対策で実施しているゲートキーパー養成事業を進めている。

広く市民を対象とした心の健康づくりの取組を通じて、市民の理解を深めることは、地域包括ケアシステムの推進には欠かせないものであり、更なる普及啓発に努めていく。

### 近藤 厚司

自民クラブ



- スマート窓口の更なる推進に向けて
- 危険な開発行為の適正管理
- 藤岡地域核を中心としたまちづくり

質問 藤岡支所と藤岡交流館の整備評価と今後の展望

地域核拠点として再整備された藤岡支所・交流館周辺の課題をどのように捉え、その解決に向けた市の方向性を問う。

答弁 地域振興部

課題の1点目は施設の利用開始からこれまで、コロナ禍の影響により、事業効果を十分に発揮できていない状況である。2点目は人口の集積や事業者の進出が、十分に進んでいないことである。そのため、支所・交流館の建物や敷地を活用して、イベント等を気軽に開催できるように施設の利活用申請のマニュアル作成を進める。また、居住促進や生活サービス機能維持のあり方等について住民主体による勉強会を実施し、ふれあいとにぎわい創出のための取組を進めていく。

## 豊田南高校の生徒が議会を傍聴

12月6日に豊田南高校の生徒が、12月定例会(一般質問2日目)を傍聴しました。

高校生らは地元の市議との意見交換や、議会制度について議会事務局の職員から説明を受けました。



傍聴席で議会を傍聴する生徒たち

## 市議会報告会兼意見交換会を開催しました

11月に、4つの常任委員会が市内の団体に対し、市議会の活動報告と関係テーマの下、意見交換会を実施しました。各団体の思いや意見を確認させていただき、今後の議会活動や市のまちづくりに生かしていきます。

開催日：11月4日  
意見交換団体：旭観光協会はじめ8団体  
テーマ：豊田市観光の未来



開催日：11月11日  
意見交換団体：井郷地域会議はじめ7団体  
テーマ：地域課題の解決や地域活性化に向けた地域会議の取組の現状と今後



開催日：11月18日  
意見交換団体：豊田市療法士会  
テーマ：長寿社会のまちづくりに向けたフレイル予防



開催日：11月29日  
意見交換団体：こどものマイク  
けんきゅうかい  
テーマ：豊田市子ども条例と子どもの意見表明アドボカシー



## 市議会の予定 3月市議会定例会は2月17日(金)開会予定です

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp/>

豊田市議会 検索 「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!

「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>



※/パケット通信が必要になりますので、携帯端末等のご視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。

一般質問の様子をスマートフォン等から閲覧できるようになりました。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継  
チャンネル/78.6MHz

## ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】  
**豊田市議会事務局**

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。